

令和 6 年度第 1 回岐阜市市政モニター
「ぎふ C I T Y ウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

- ・ 男女共同参画に関する意識、実態調査について

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

TEL : 058-214-4792 / MAIL : danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

- ① あらゆる分野、場面においての男女共同参画に関する意識及び実態について調査を実施。
- ② ①の結果を今後の本市における男女共同参画を推進する取り組みの参考とする。

2 調査期間

令和6年6月21日(金)～7月5日(金)

3 調査項目

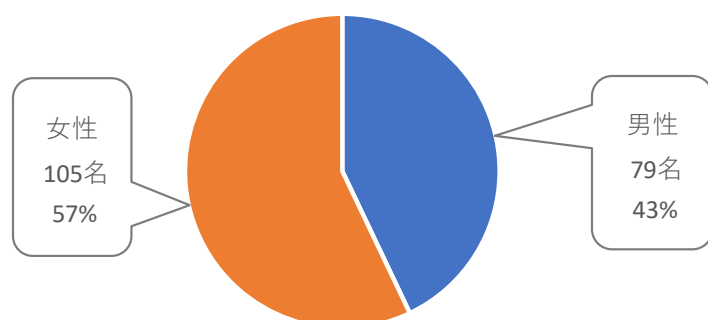
男女共同参画に関する意識、実態調査について（問1～問11）

4 回答者属性

令和6年度市政モニター第1回回答者 性別別割合

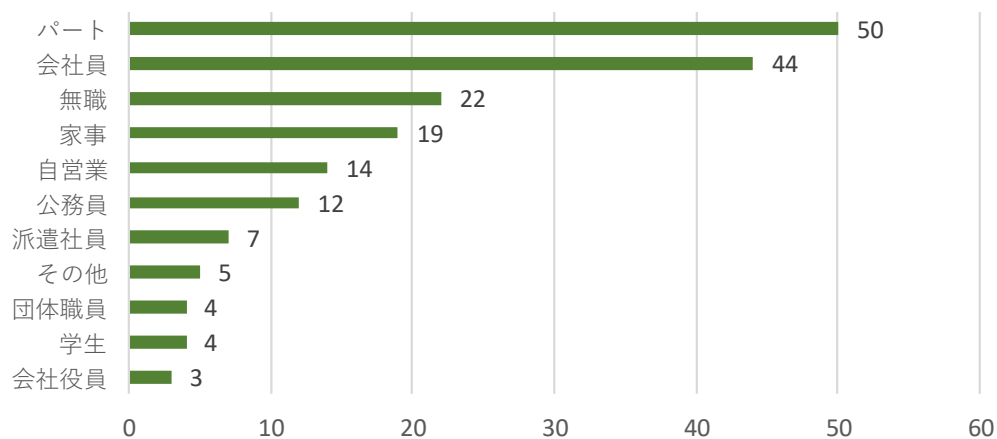
<回答者総数> 184人

■ 男性 ■ 女性



令和6年度市政モニター第1回回答者 職業別割合

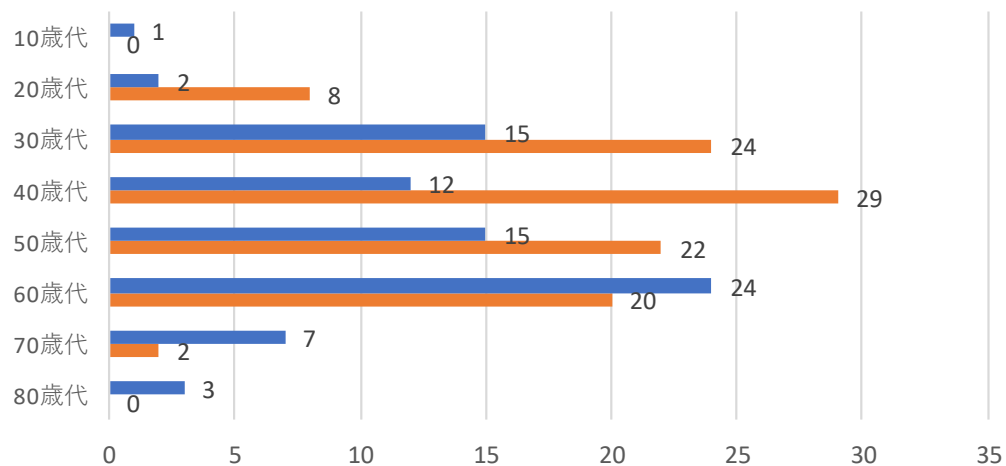
<回答者総数> 184人



令和6年度市政モニター第1回回答者 年代別割合

<回答者総数> 184人

■ 男性 ■ 女性



5 結果の概要

男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

今回のアンケートで、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識については「同感できない」、「どちらかといえば、同感できない」と回答した方が、全体の7割を超える結果となりました。しかし、男女の地位については、“学校教育の場”以外の項目については「どちらかといえば男性が優遇されている」の回答割合が最も高くなっており、その中でも、“職場”“政治の場”“しきたりや慣習”が特に高い割合となっています。

また、就業については、就業しておらず「働きたい」就業形態を「パートタイム、アルバイト、非常勤など」と答えた方が一番多く約7割という結果となりました。

女性が職業を持つことについて、「子どもができて、ずっと職業を続けるのがよい」と考える方は6割強いるものの、女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることについては、約9割の方が「家事や育児・介護との両立が難しい」を選択しています。

この結果から、性別役割分担意識については同感できないと考えているものの、社会全体ではそれが強く残っていることがうかがえます。また、女性が社会に出て活躍するには家事・育児との両立ができるように職場や家庭において、女性が働きやすい環境や制度の整備が必要であると考えます。男女共同参画社会の実現のため、こういった問題の解消に向けてより一層取り組むことが必要であると考えています。

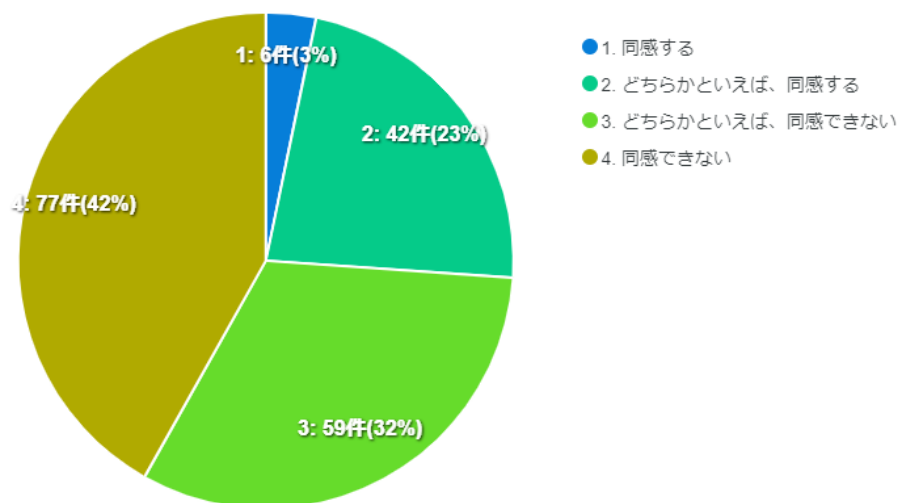
さらに、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）についてのアンケートでは、アンコンシャス・バイアス自体の認知度は約5割となりました。「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識について、全体の7割を超える方が「同感できない」、「どちらかといえば、同感できない」と回答しているにもかかわらず、「男性は仕事をして家計を支えるべき」という質問については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した方が、約6割という結果となりました。

この結果から、無意識の思い込みは誰もが持っているものだということがうかがえます。まずは、アンコンシャス・バイアスそのものを知り、気づくことが必要であると考えております。

6 項目別の結果

男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

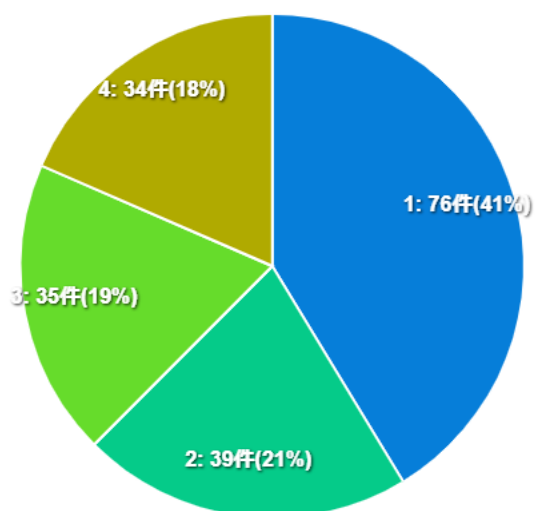
質問 1. あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか？



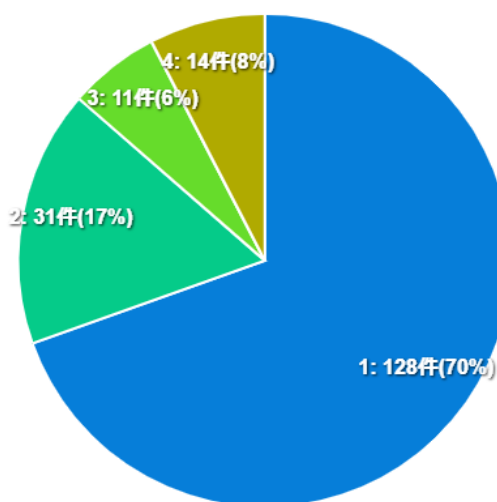
質問 2. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか？

- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【家庭生活】

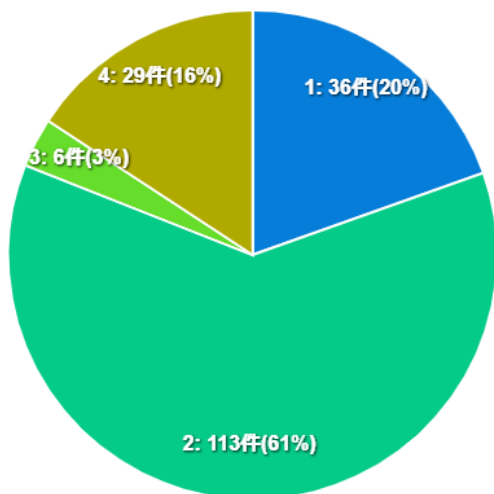


【職場】



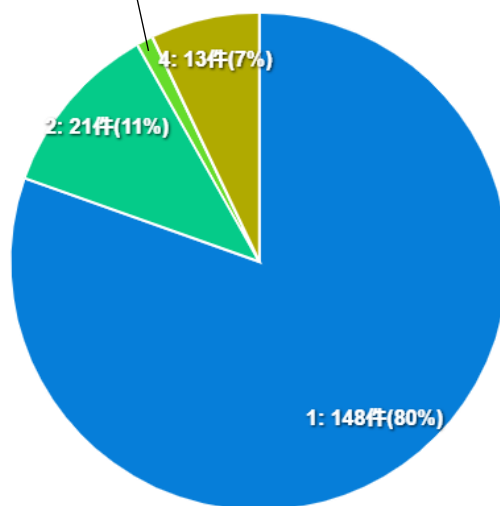
- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【学校教育の場】

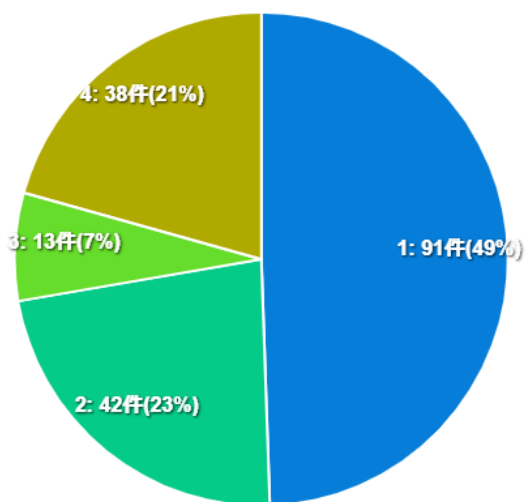


【政治の場】

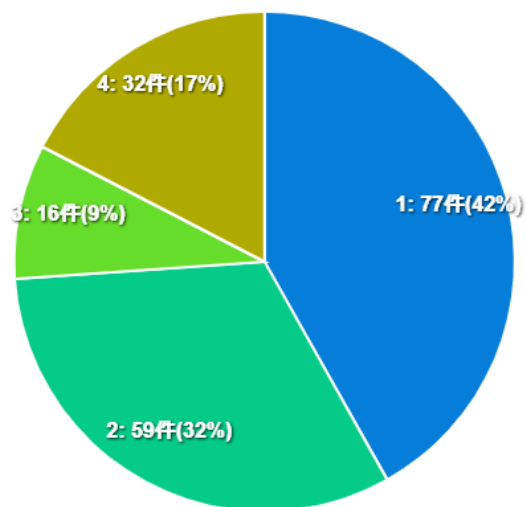
3. どちらかといえば女性が優遇されている 2 件(2%)



【地域活動の場】

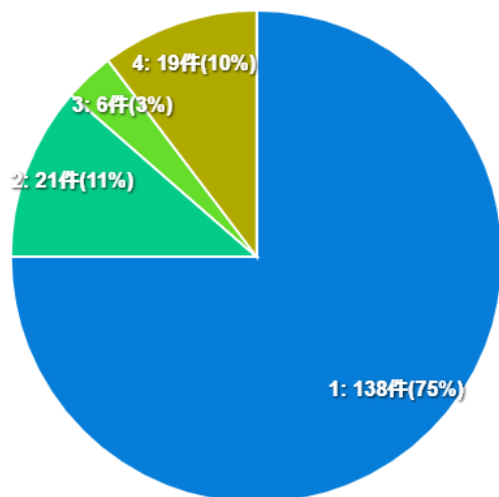


【法律や制度】



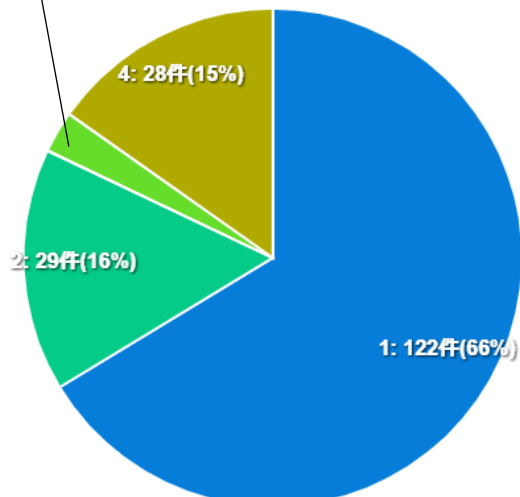
- 1. どちらかといえば男性が優遇されている
- 2. 平等である
- 3. どちらかといえば女性が優遇されている
- 4. どちらともいえない

【しきたりや慣習】



【社会全体】

3. どちらかといえば女性が優遇されている 5 件(3%)

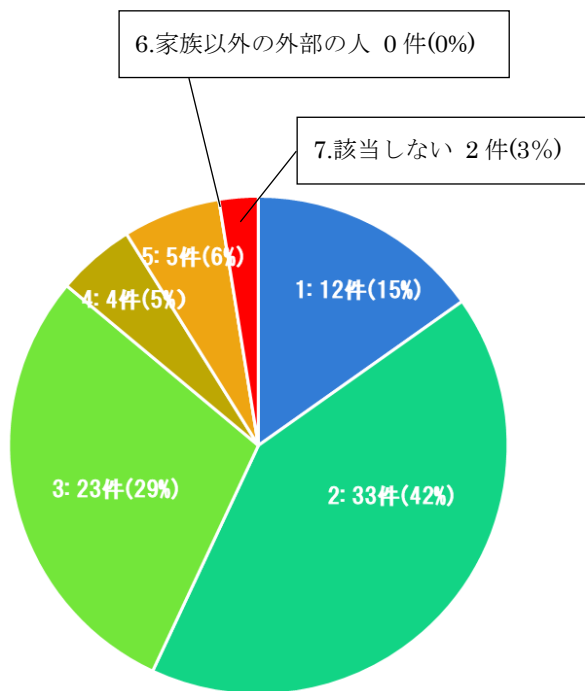


質問3. あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか？

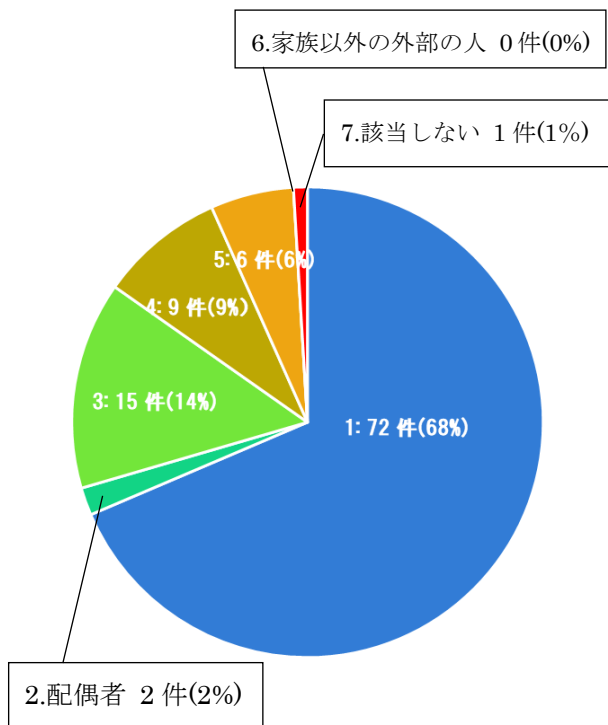
- 1. あなた自身 ● 2. 配偶者 ● 3. あなたと配偶者が同じくらい ● 4. 父・母・子など
● 5. 家族全員 ● 6. 家族以外の外部の人 ● 7. 該当しない

【掃除・洗濯などの家事】

<男性>

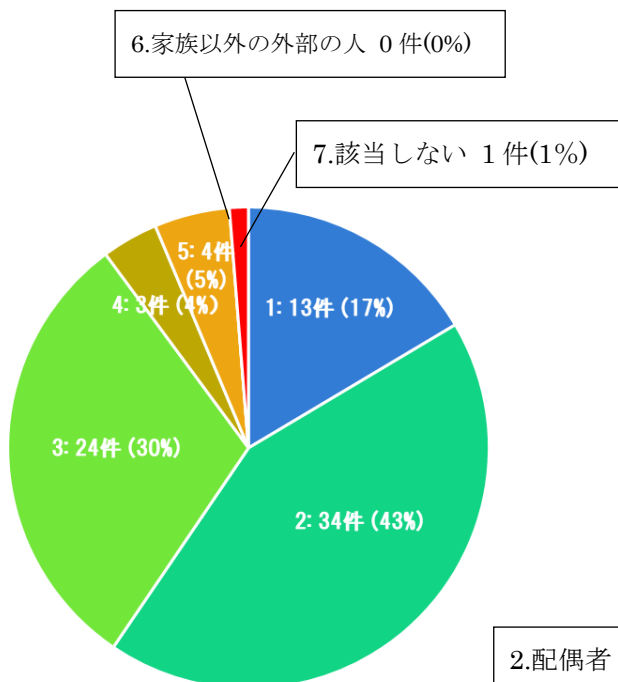


<女性>

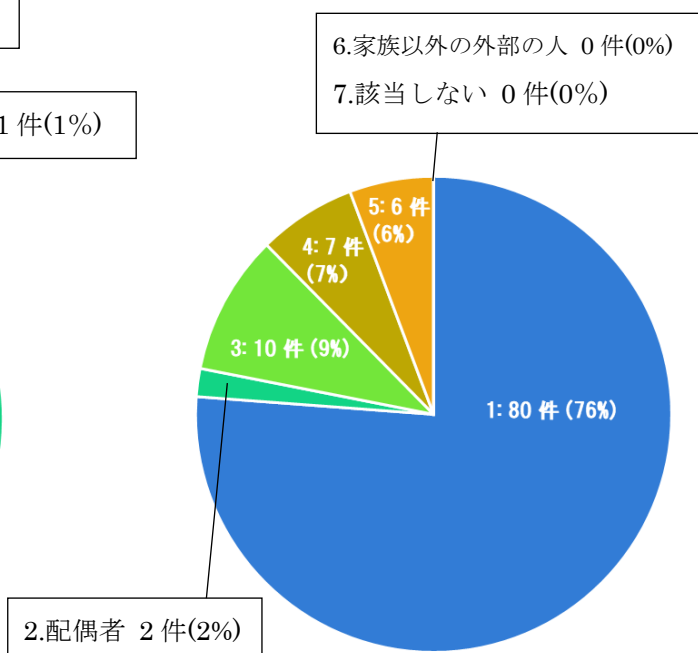


【食事の支度や後片付けなどの家事】

<男性>



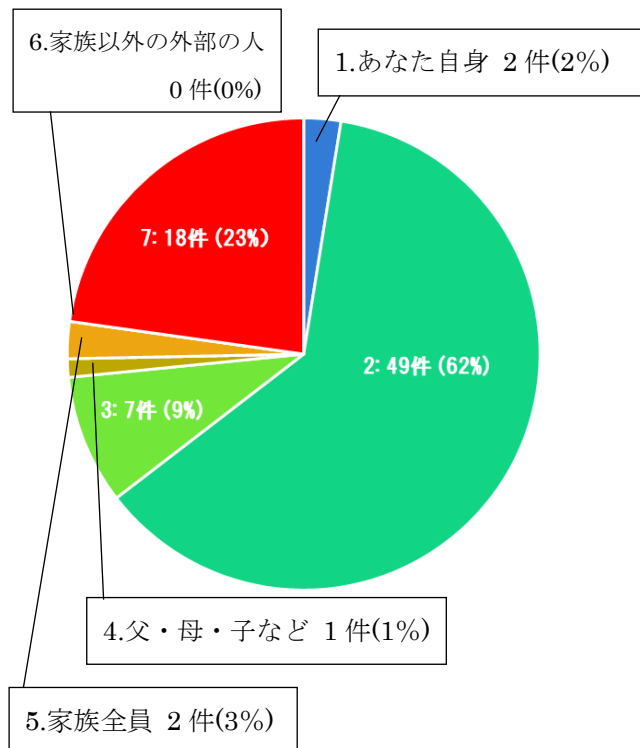
<女性>



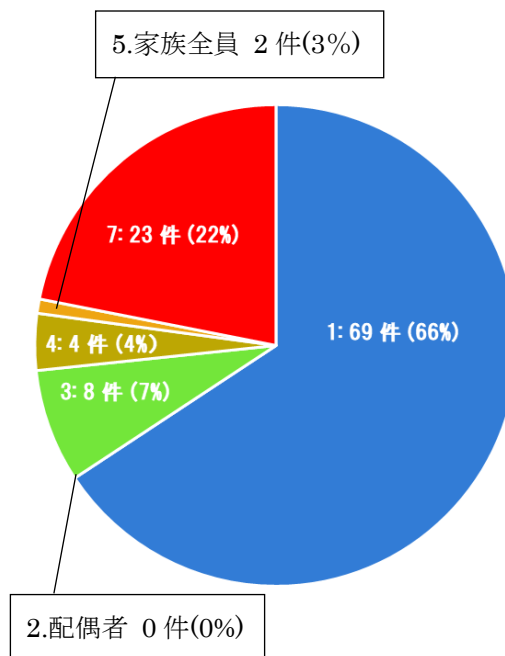
- 1. あなた自身 ● 2. 配偶者 ● 3. あなたと配偶者が同じくらい ● 4. 父・母・子など
- 5. 家族全員 ● 6. 家族以外の外部の人 ● 7. 該当しない

【育児（過去から現在までで該当ある場合）】

＜男性＞

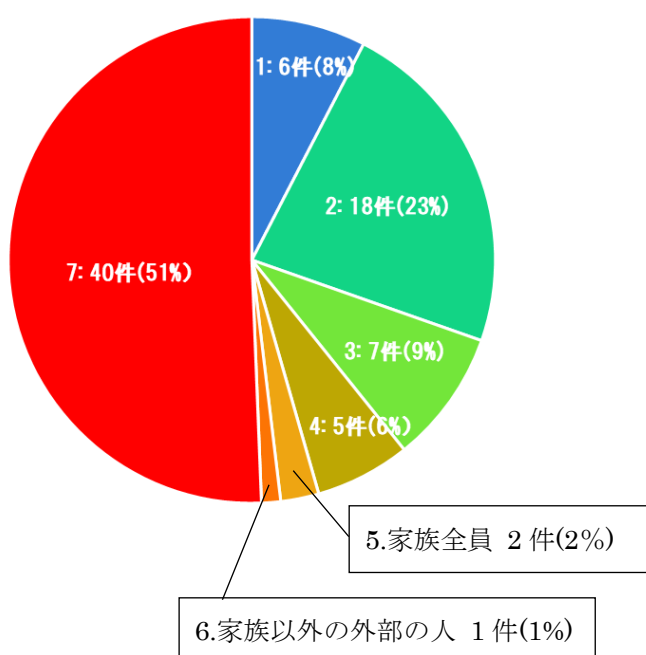


＜女性＞

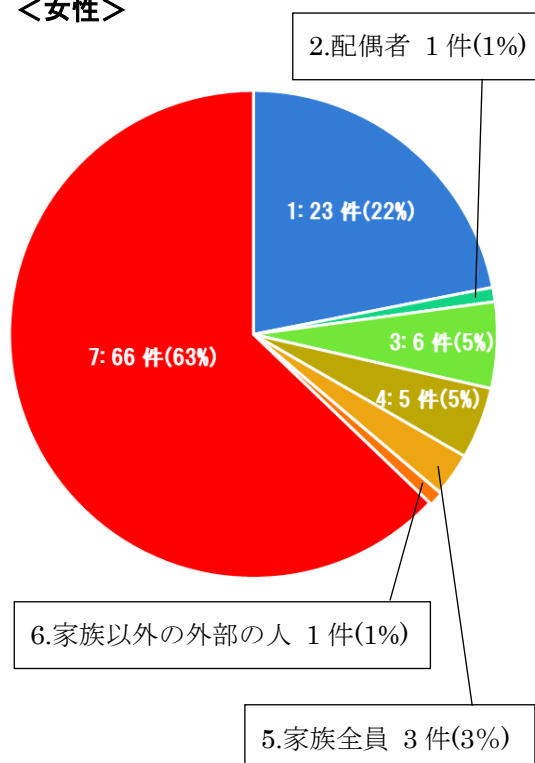


【介護（過去から現在までで該当ある場合）】

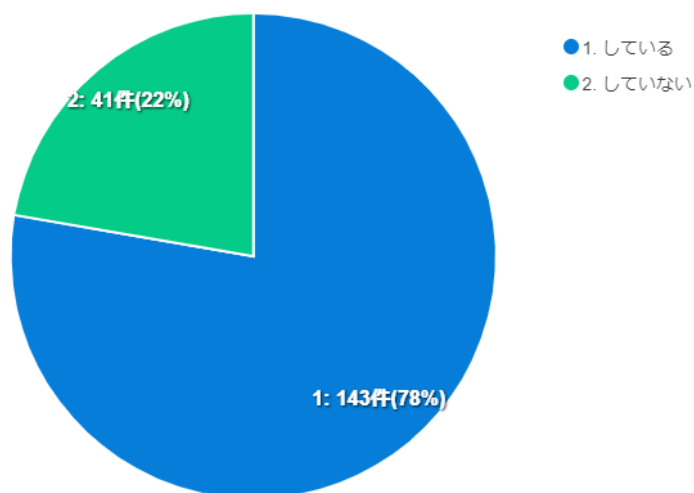
＜男性＞



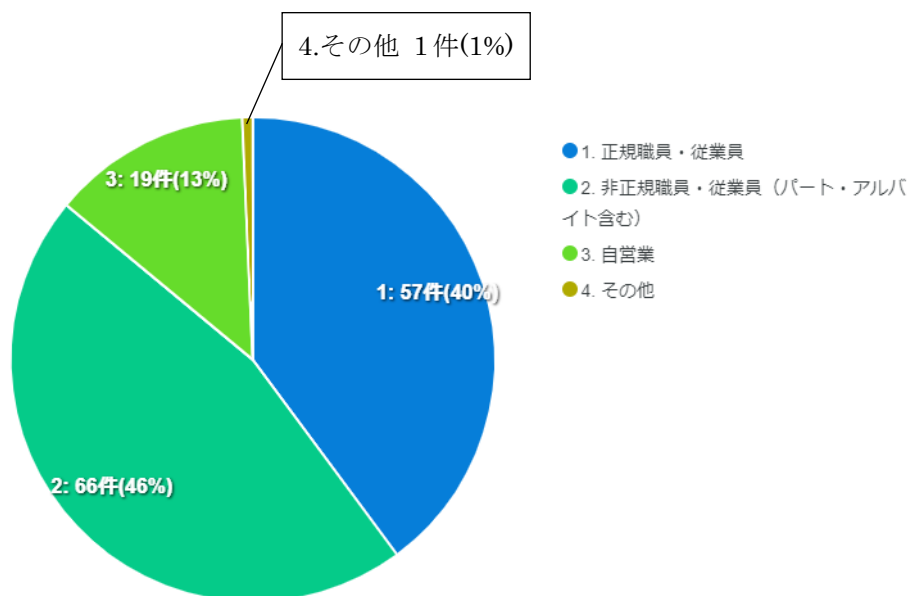
＜女性＞



質問4. あなたは、収入を伴う仕事（パート、自営業、臨時、在宅勤務などを含む）をしていますか？

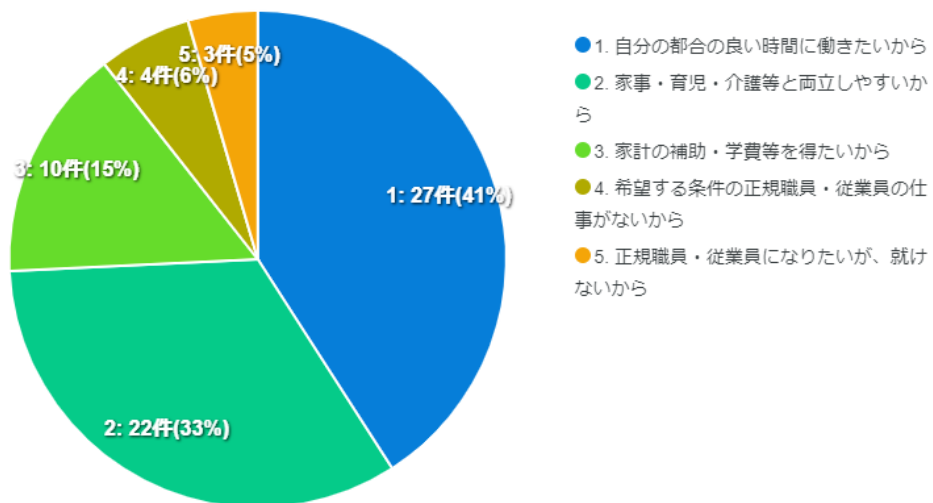


質問4-1. 質問4で「している」と答えた方にお聞きします。あなたの就業形態は以下の内、どれですか？

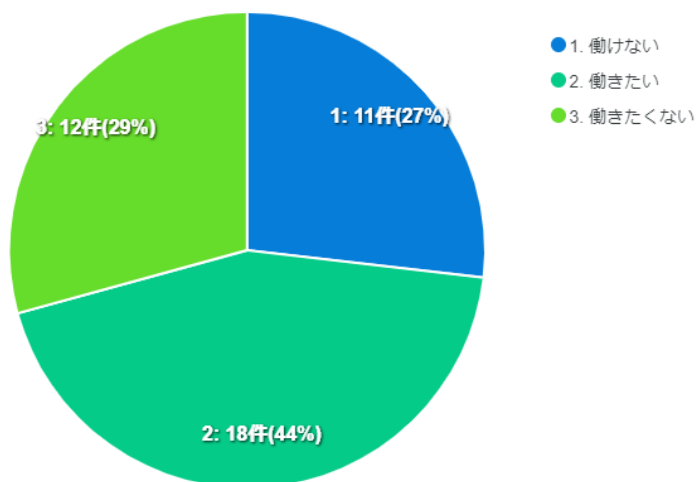


■ その他
・ ポスティング

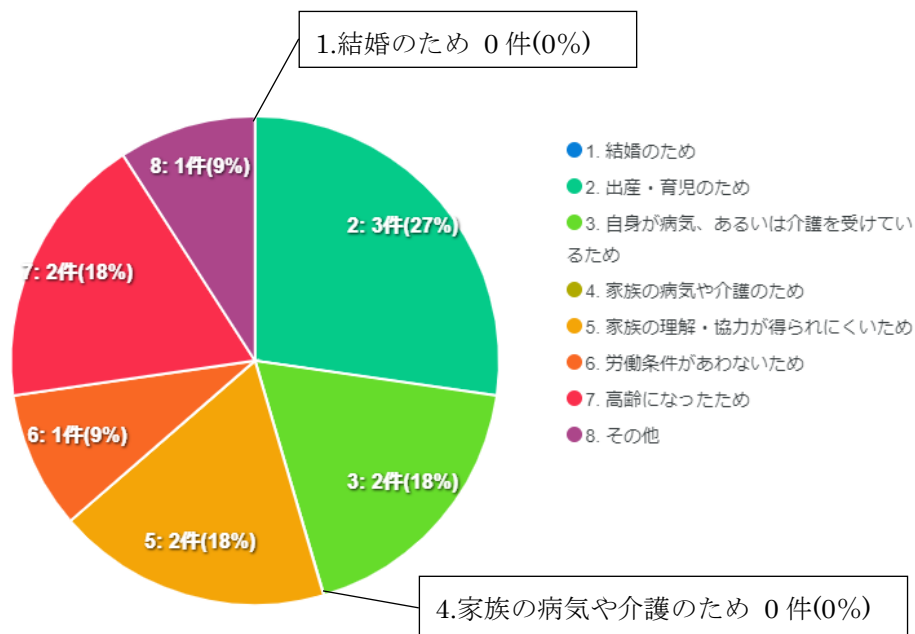
質問4-2. 質問4-1で「非正規職員・従業員（パート・アルバイト含む）」と答えた方にお聞きします。あなたが非正規の職員・従業員に就いた主な理由は何ですか？



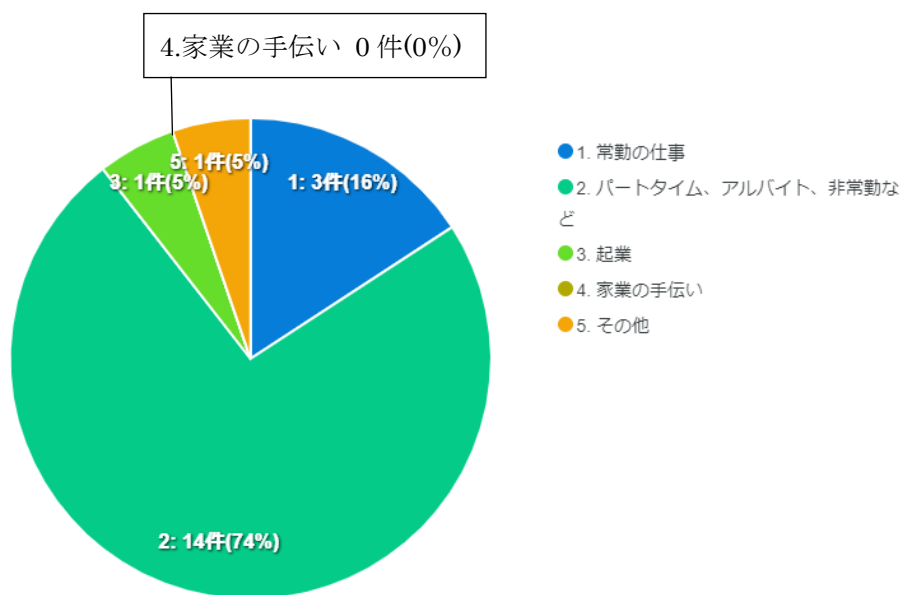
質問5. 質問4で「していない」と答えた方にお聞きします。今後、どうしたいですか？



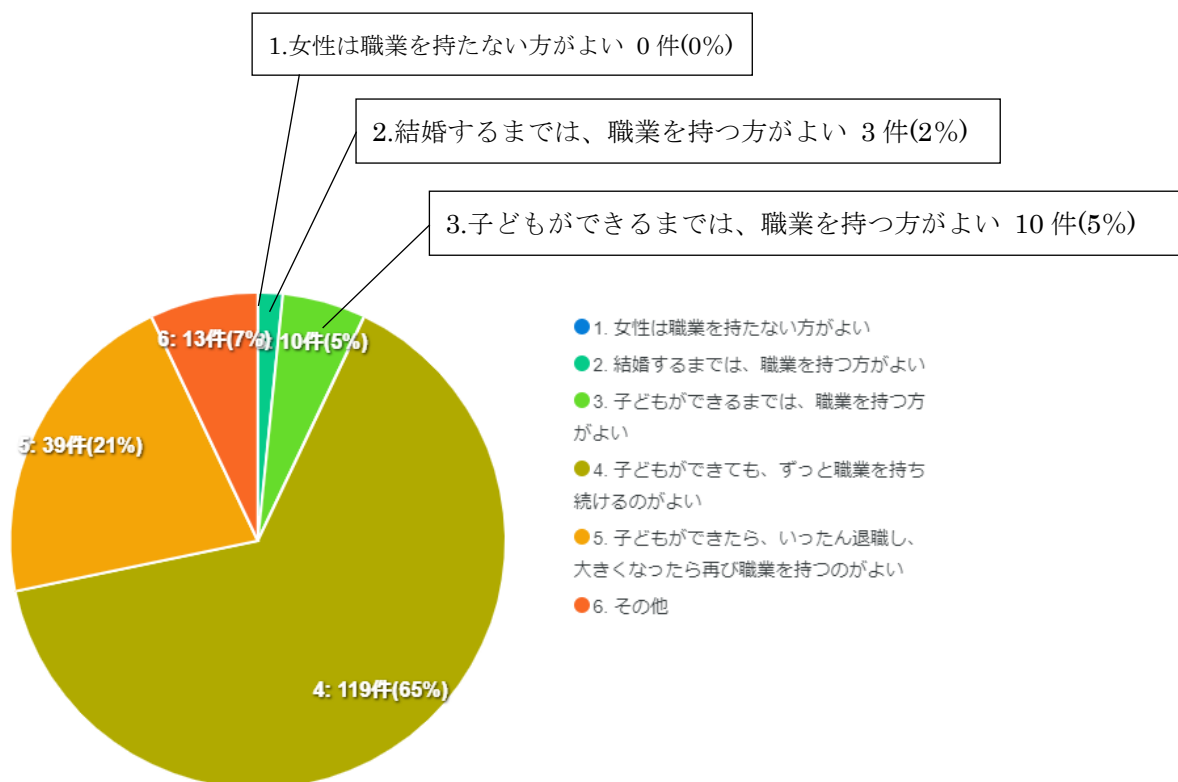
質問5-1. 質問5で「働けない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか？



質問5-2. 質問5で「働きたい」と答えた方にお聞きします。どのような形で働きたいとお考えですか？



質問6. あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか？

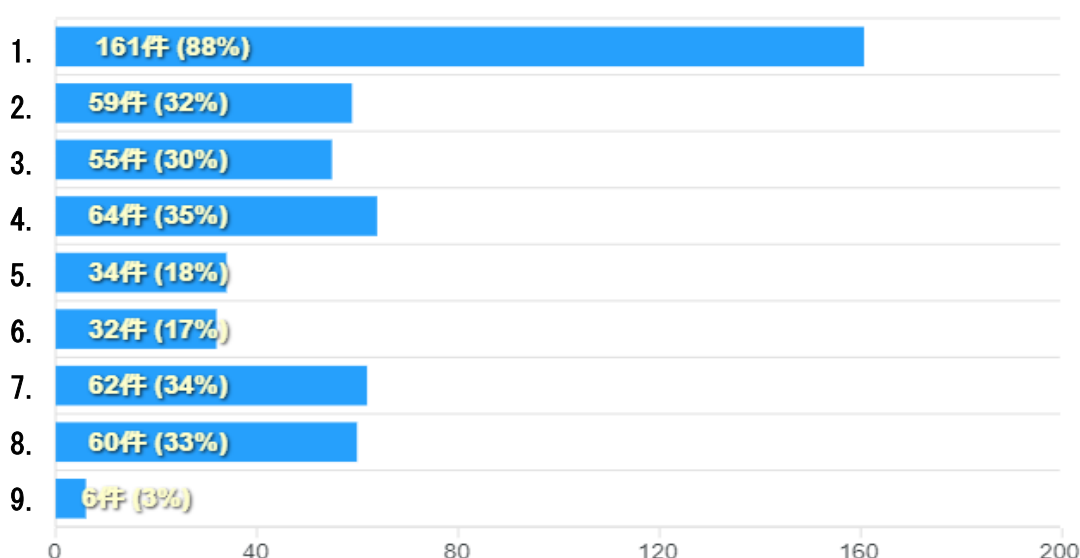


■その他<一部抜粋>

- ・その人の考え方で仕事をすればいい。
 - ・働きたい女性は働き、家庭に入りたい女性は家庭に入る。と言う様に選択出来る自由が必要です。その為には一家の大黒柱と呼ばれるお父さんの収入アップが必要である。
 - ・結婚や子供の有無に関わらず個々人のタイミングや意思で職業を持つのが良いと思う。
- 家庭において男女がお互いを敬えるのであれば女性は職業を持たなくても良いと考えるが、現状難しいので職業を持った方がよい。
- ・女性本人が、自分の意思により様々な選択ができることが一番望ましいと考えます。
 - ・働きたい人は、働けばいい。自分の意志で決め、実行できるように。ライフプランの見直しがいつでもできる世の中になってほしい。
 - ・子育ては重要であるが必ずしも女性とは限られてないが各家庭で事情は異なりケースバイケース。

質問7. 女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることは何だと思いますか？（複数回答）

1. 家事や育児・介護との両立が難しい
2. 家族の協力や理解が得られない
3. 職場が責任ある仕事を女性に任せない
4. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られている
5. 女性自身の職業に対する自覚が不足している
6. 女性の勤続年数が平均的に短い
7. 時間外労働（残業）や深夜労働をさせにくいとされている
8. 顧客や取引先を含め、社会一般の理解が不十分である
9. その他

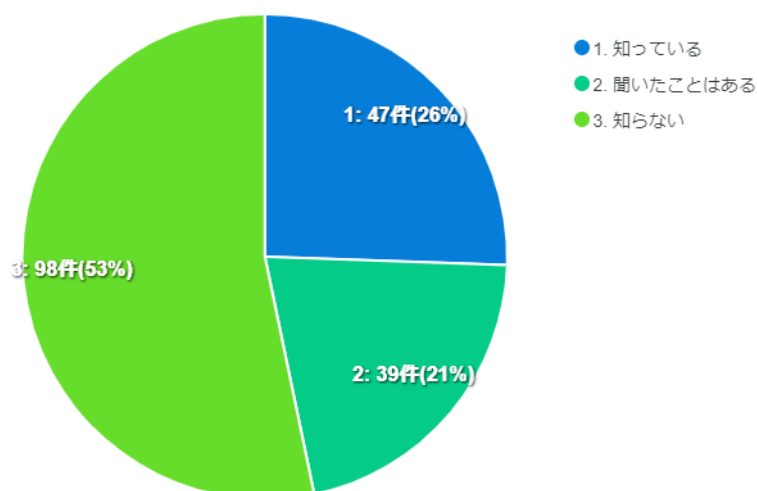


■その他<一部抜粋>

- ・子供の発熱などで帰宅するのは母として当然だが、会社に残されて仕事のフォローをした社員に、何も手当が無いのが、腑に落ちない。これが何度も続くと、社員同士の仲もギスギスする原因になる（経験談）。
- ・社員の妊娠、育休が、雇用主にとってリスクになる。
- ・家族と職場の協力次第で職業は続けられると思う。
- ・子供の急な発熱などにも母親（女性）がほとんど対応しなければならないこと。
- ・妊娠中の体調不良や体調についての不安からくる体調不良、受診、出産、育児で突発的あるいは長期的な休みを取らざるを得ない。これによりスピーディーな対応が求められる仕事を1人で把握、こなすことの支障になっていると感じる。1人任せにしないために上長に全てを共有するのも、上長も自分以上に仕事を持っているので共有作業に時間を取られ、お互いの業務が進まない。私の仕事は在宅では不可能な為、その女性の能力や人当たりの良さみたいな部分の、メリットが上回らない限りは引き続きウエイトの重い仕事を持ち続けることは現実的に厳しいのでは無いかと感じている。
- ・職業を持ち続けるための支援制度が薄い。個人の努力に任せているだけ。

質問 8. あなたはアンコンシャス・バイアス※（無意識の思い込み）について知っていますか？

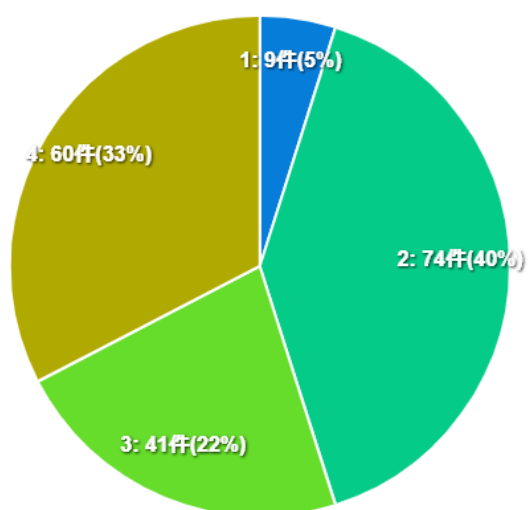
※アンコンシャス・バイアスとは、これまでの経験や育った環境から、自分では気づかないうちに抱いている偏見や思い込みのことを言います。



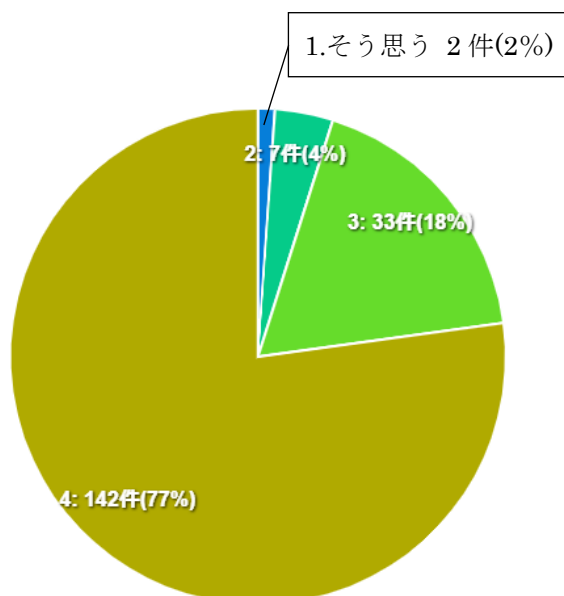
質問 9. 家庭・コミュニティでのアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

【家事・育児は女性がするべき】

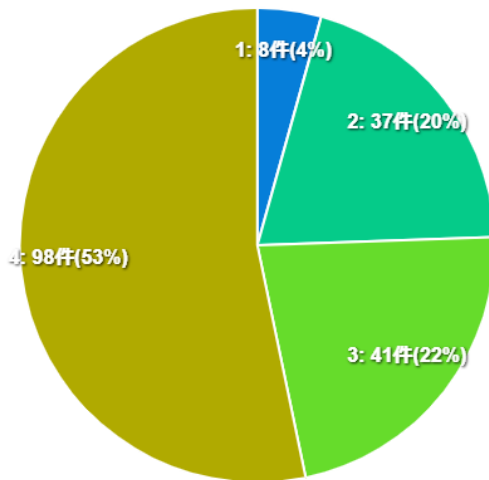


【男性が洗濯物を干すのはみっともない】

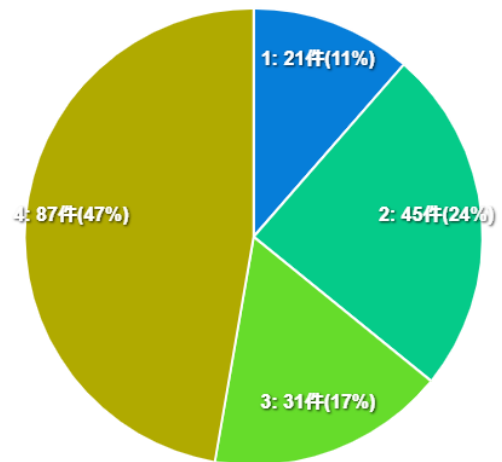


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

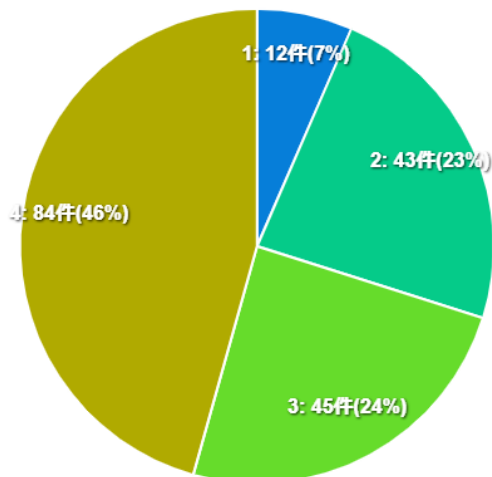
【家を継ぐのは男性であるべき】



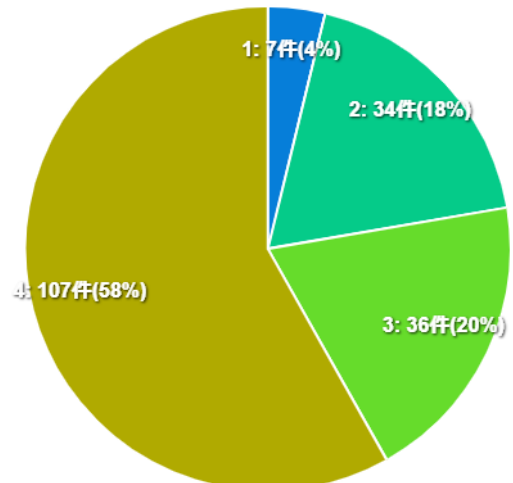
【男性は結婚して家庭をもって一人前】



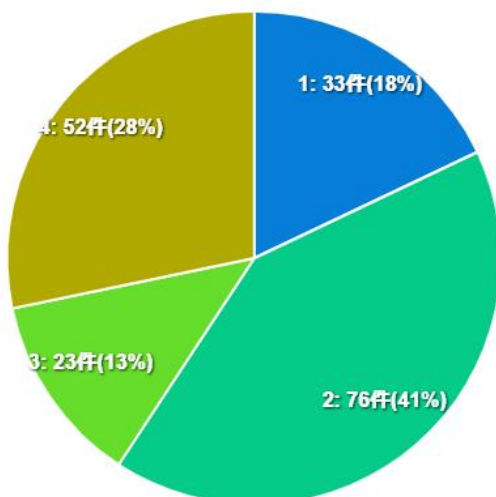
【女性は結婚によって、
経済的に安定を得る方が良い】



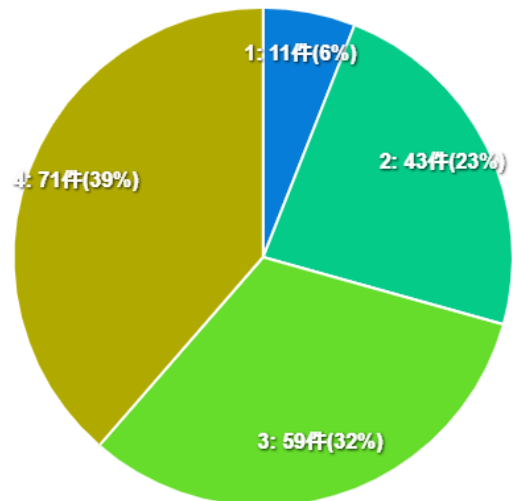
【結婚したら姓を変えるのは
女性であるべき】



【男性は仕事をして家計を支えるべき】

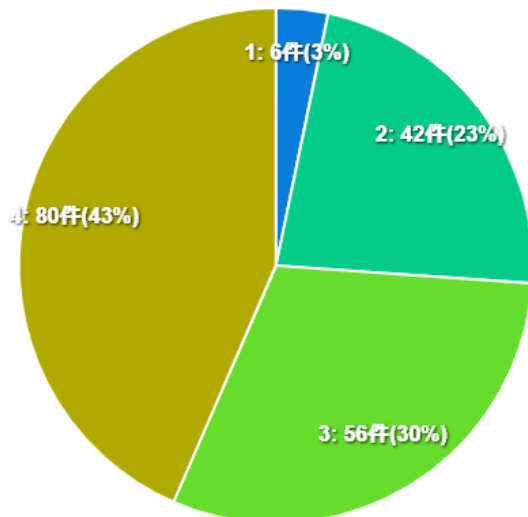


【共働きでも男性は家庭よりも
仕事を優先するべき】

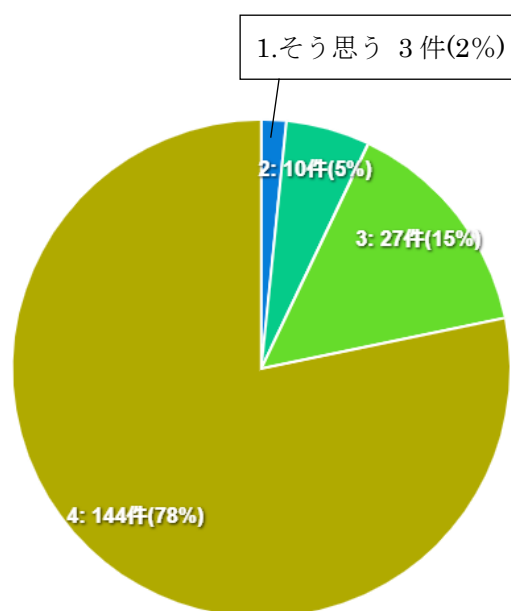


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

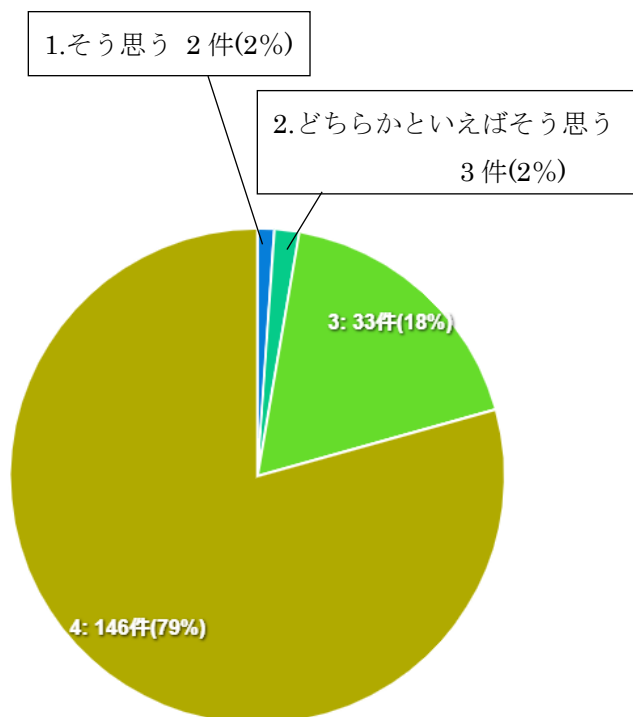
【共働きで子どもの具合が悪くなった時、
母親が看病すべき】



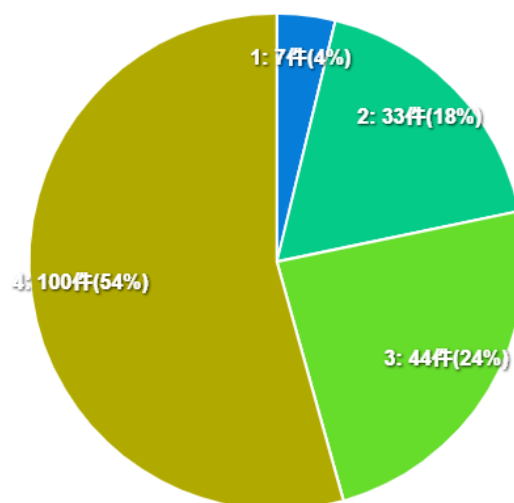
【学級委員長や生徒会長は男子が、
副委員長や副会長は女子の方が向いている】



【女性に理系の進路（学校・職業）は
向いていない】

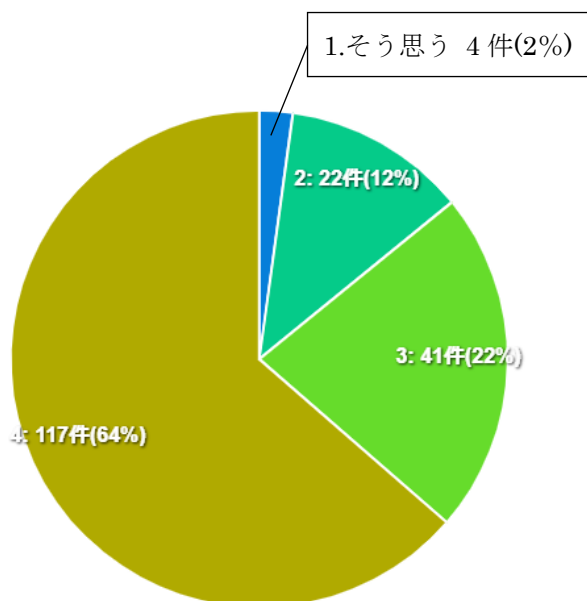


【男性であればいい大学を出て
出世を目指すべき】

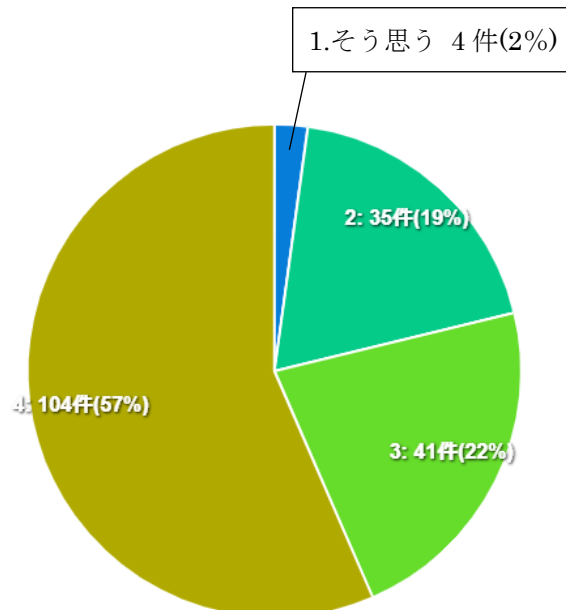


- 1. そう思う ● 2. どちらかといえばそう思う
● 3. どちらかといえばそう思わない ● 4. そう思わない

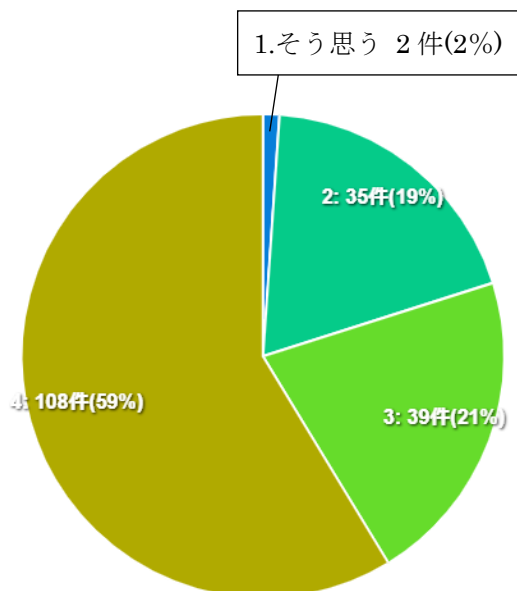
【PTA には、女性が参加するべき】



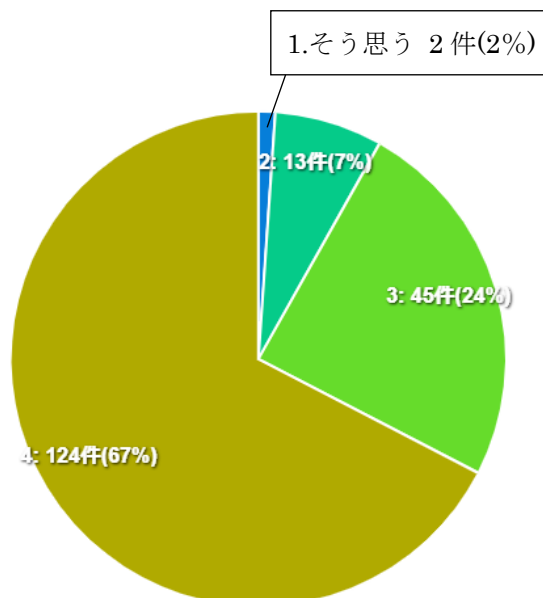
【親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割】



**【自治会や町内会の重要な役職は
男性が担うべき】**

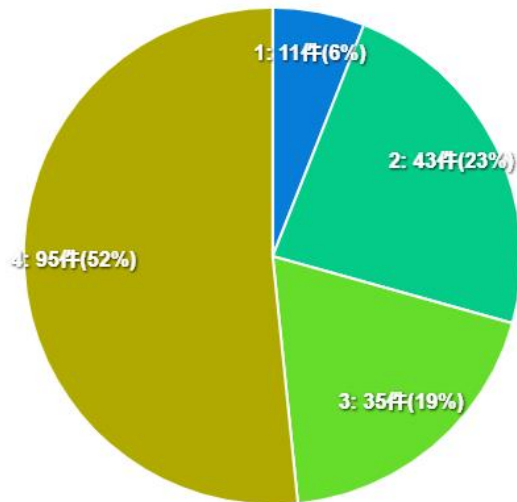


**【実の親、義理の親に関わらず、
親の介護は女性がすべき】**



- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

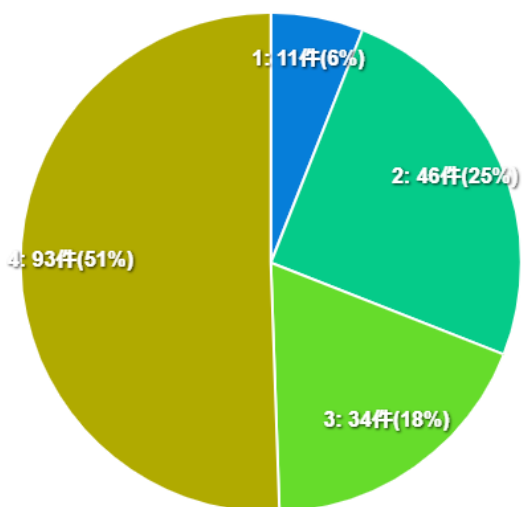
【デートや食事のお金は男性が負担すべき】



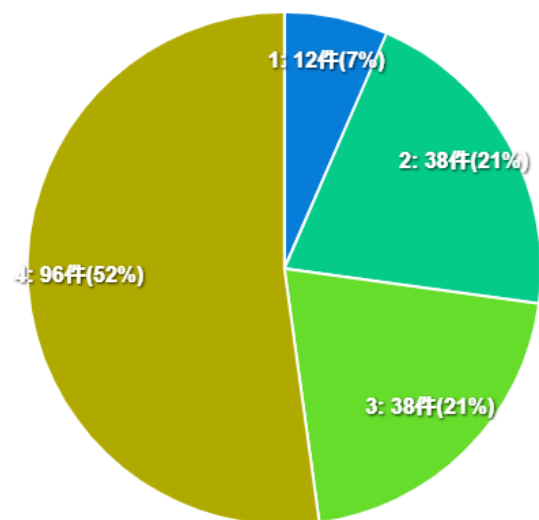
質問 10. 職場でのアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

【組織のリーダーは男性の方が向いている】

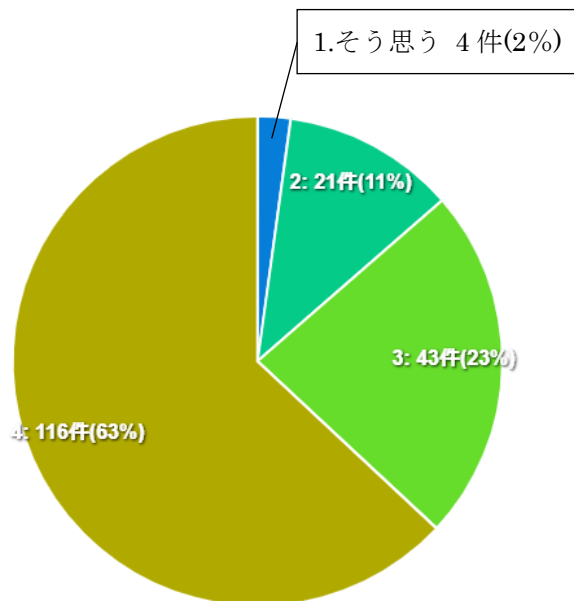


【大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい】

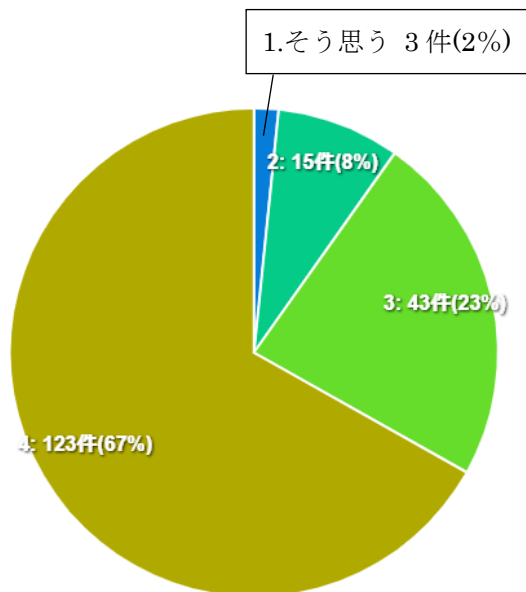


- 1. そう思う ● 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない ● 4. そう思わない

【事務作業などの簡単な仕事は女性がするべき】



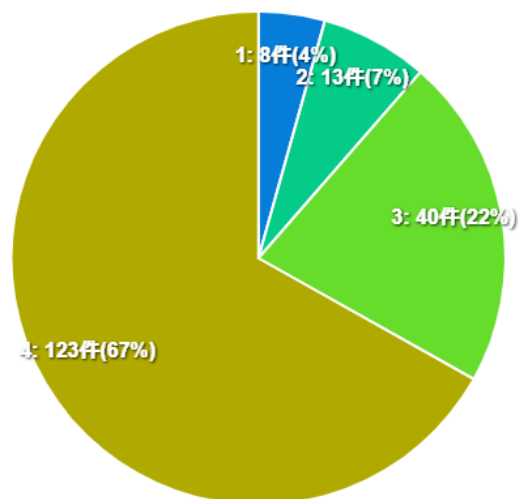
【職場では、女性は男性のサポートに
まわるべき】



【育児期間中の女性は重要な仕事を
担当すべきでない】



【男性は出産休暇／育児休業を
取るべきでない】



● 1. そう思う

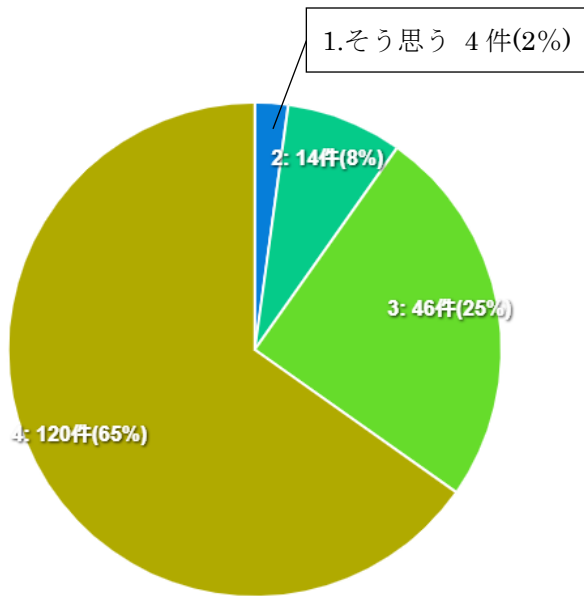
● 2. どちらかといえばそう思う

● 3. どちらかといえばそう思わない

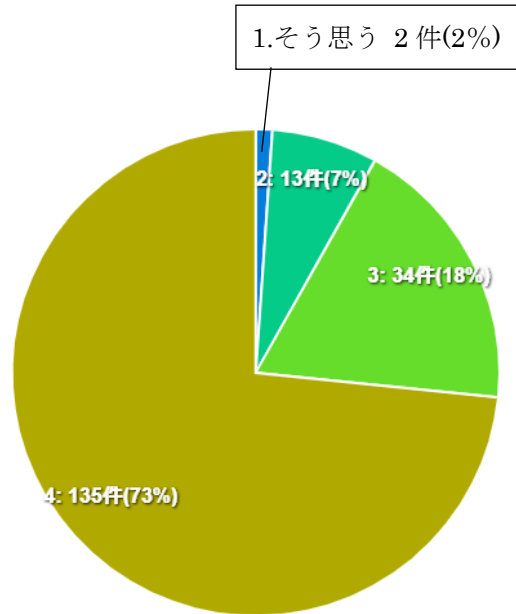
● 4. そう思わない

【仕事より育児を優先する男性は

仕事へのやる気が低い】

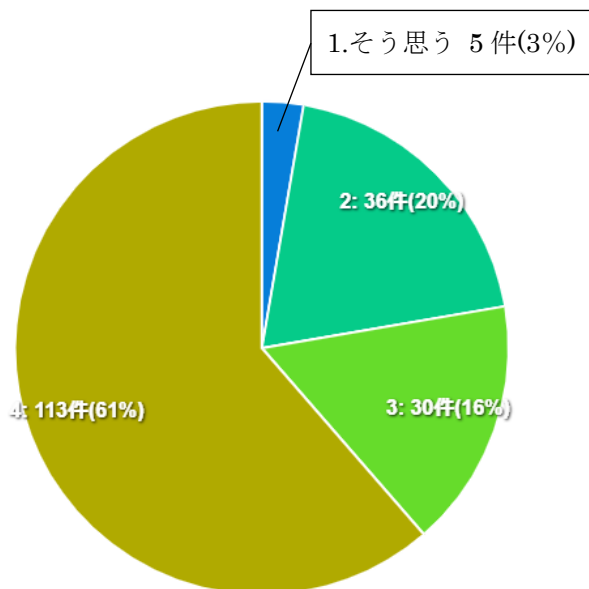


【営業職は男性の仕事】



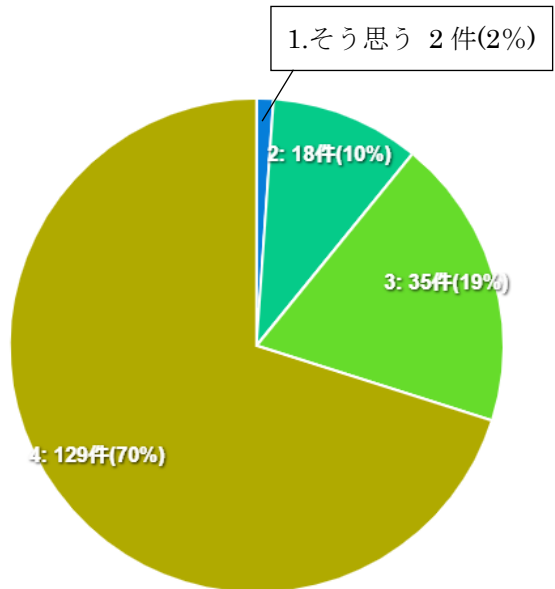
【受付、接客・応対（お茶出しなど）は

女性の仕事】



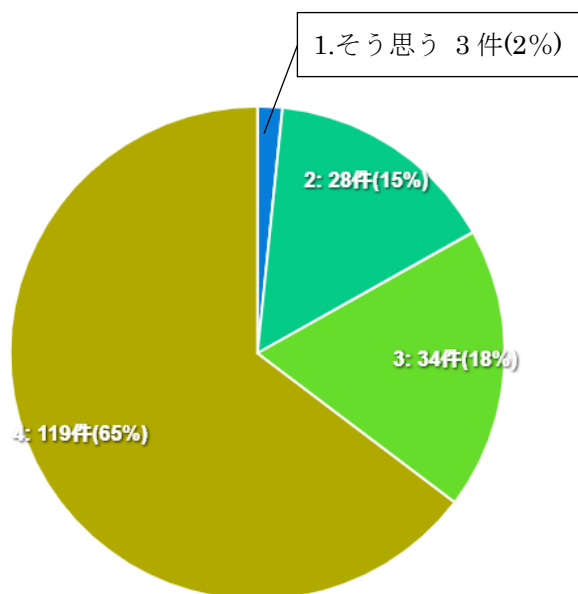
【職場での上司・同僚へのお茶くみは

女性がする方が良い】

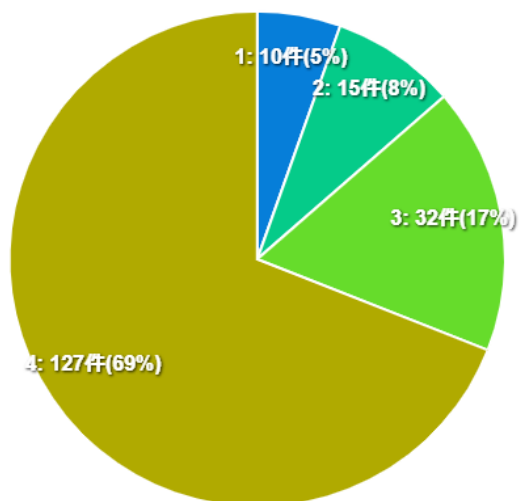


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

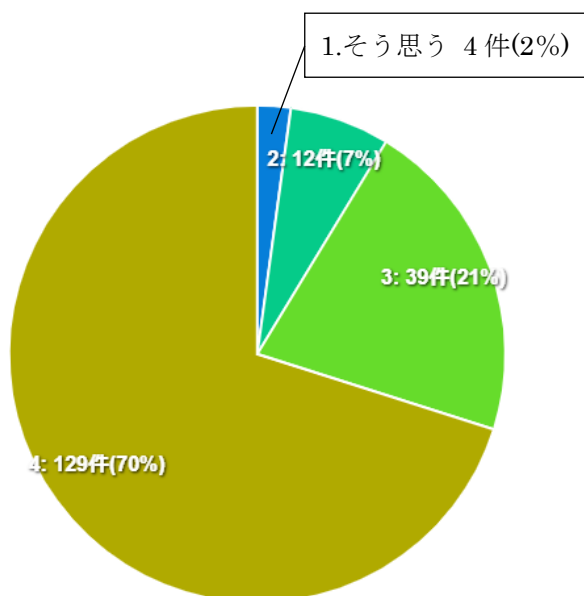
【転勤は男性がするもの】



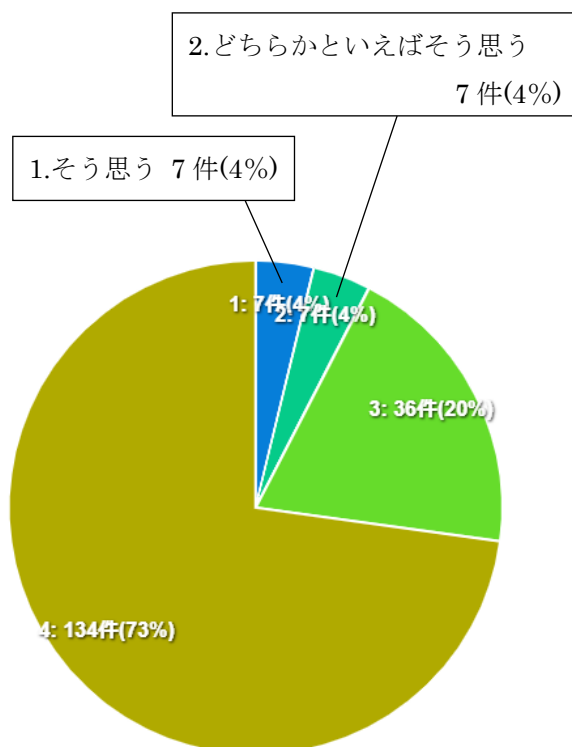
【男性なら残業や休日出勤をするのは
当たり前】



【女性の上司には抵抗がある】

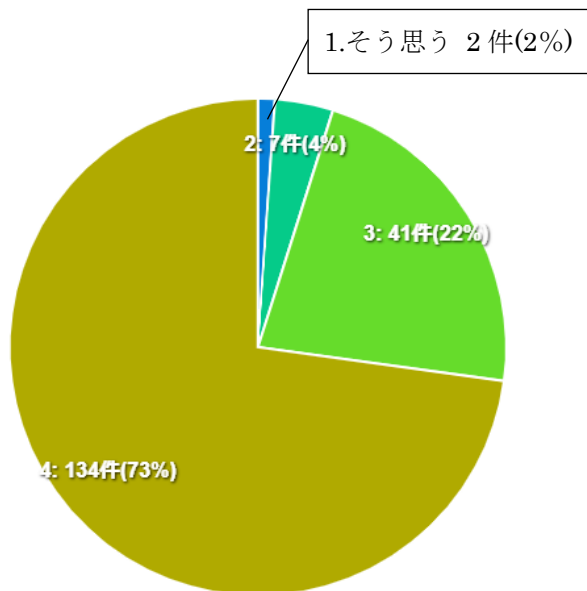


【同程度の実力なら、まず男性から
昇進させたり管理職に登用するもの】

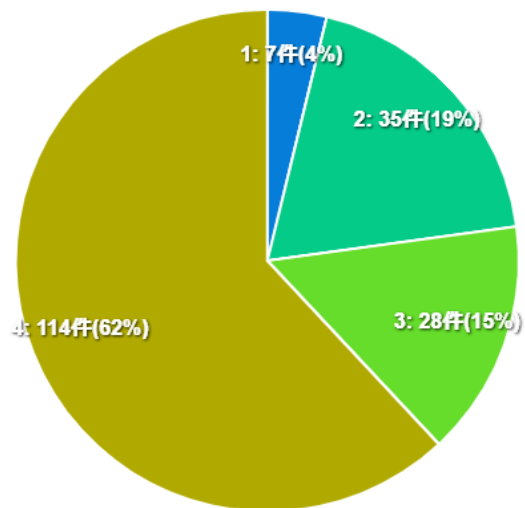


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

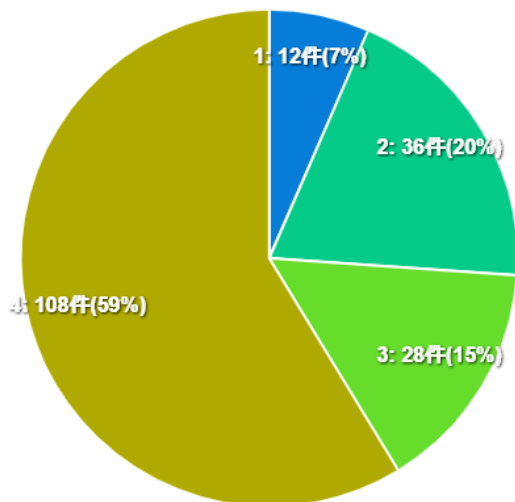
【女性社員の昇格や管理職への
登用のための教育・訓練は必要ない】



【仕事で成功していても、
結婚をしていない女性は
何かが足りないと感じる】



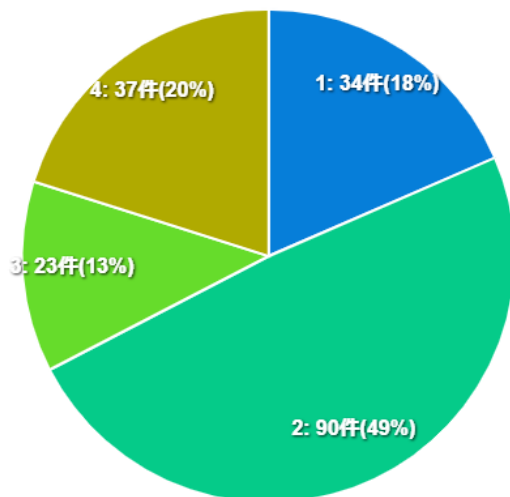
【仕事で成功していても、
結婚をしていない男性は
何かが足りないと感じる】



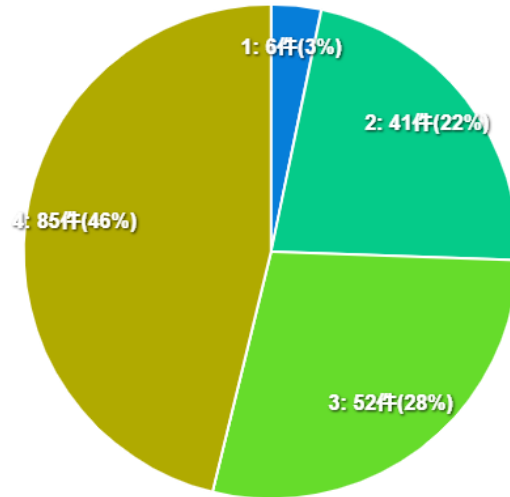
質問 11. その他のアンコンシャス・バイアスについてお伺いします。次の設問から自分に思い当たるものを選んでください。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

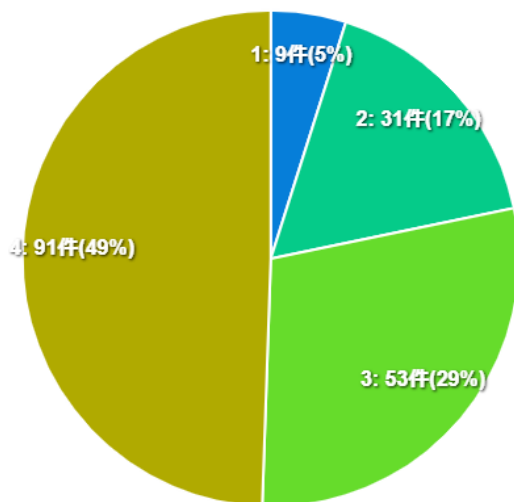
【女性は感情的になりやすい】



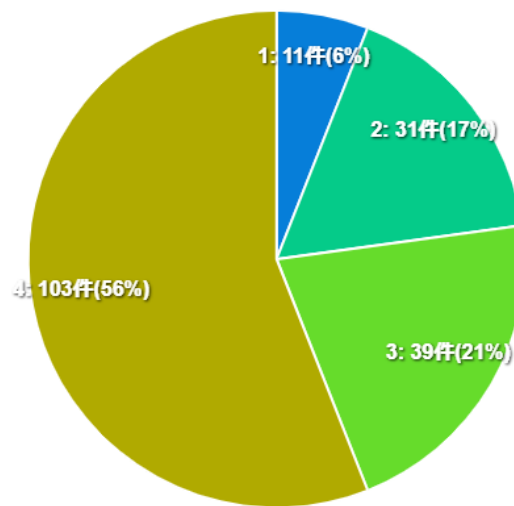
【女性は倫理的に考えられない】



【男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない】

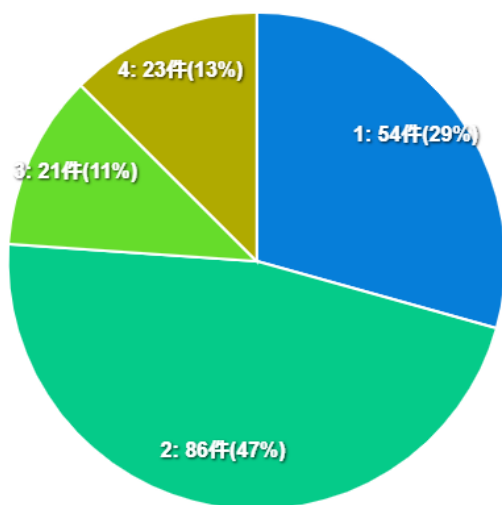


【男性は人前で泣くべきではない】

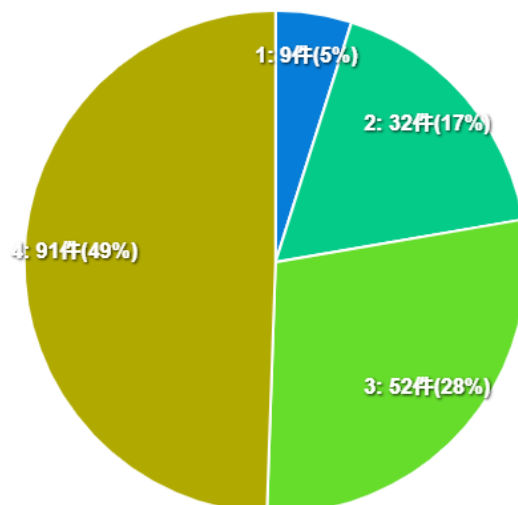


- 1. そう思う ● 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない ● 4. そう思わない

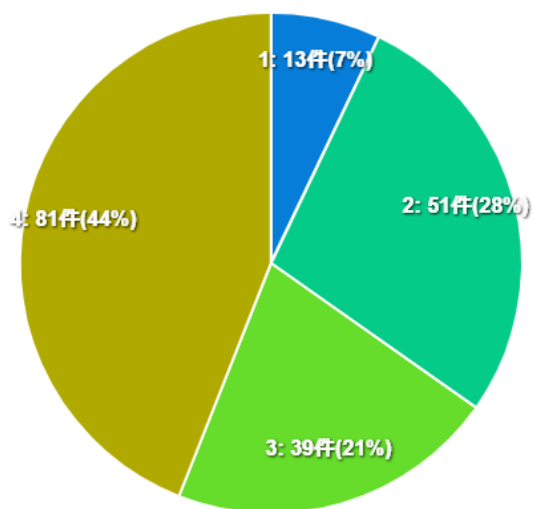
【女性には女性らしい感性がある】



【男性より女性の方が思いやりがある】



【女性はいか弱い存在なので、守らなければならない】



7 今後に向けて

男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

男女共生・生涯学習推進課では、男女共同参画社会の実現に向けて、第3次岐阜市男女共同参画基本計画（改定版）に基づき、様々な取り組みを推進してきました。

しかしながら、今回の調査結果から、あらゆる場面において依然として男性が優遇されていると感じている方が多いこと、また、性別役割分担意識について「同感できない」と考える方が多い一方で現実では、女性が職業を持ち続けていくうえで、家事や育児・介護との両立が難しいことが問題となっていることがわかります。

男女共同参画社会を実現していくうえで、固定的な性別役割分担意識の解消やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきを促すことは、重要な課題であると考えられるため、継続して男女共同参画に対する意識啓発に努めてまいります。

また、岐阜市では、男女が共に働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業などを「岐阜市男女共同参画優良事業者」として表彰し、また、男女の育児参画を推進する企業や、女性活躍を支援しその環境づくりに取り組む企業を「ぎふし共育・女性活躍企業」として認定をしています。このような企業の取り組みを市内事業者全体に浸透できるよう、今後も引き続き周知啓発に努めてまいります。

今回の調査結果を踏まえ、「すべての人が自らの未来を選択でき、意欲を持って輝けるまち」を目指し、男女共同参画行政を推進してまいります。

お問い合わせ先

市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

TEL：058-214-4792／MAIL：danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp